

## 株主メモ

事業年度	毎年4月1日から翌年3月31日まで
定時株主総会	毎年6月
期末配当金受領株主確定日	毎年3月31日
中間配当金受領株主確定日	毎年9月30日
株主名簿管理人 特別口座の口座管理機関	三菱UFJ信託銀行株式会社
同連絡先	〒541-8502 大阪市中央区伏見町三丁目6番3号 三菱UFJ信託銀行株式会社 大阪証券代行部 TEL:0120-094-777(通話料無料)
公告の方法	当社は以下のURLで電子公告を行います。 <a href="https://www.shizuki.co.jp/">https://www.shizuki.co.jp/</a> ※事故その他のやむを得ない事由により、電子公告を行うことができない場合は、日本経済新聞に掲載いたします。
上場証券取引所	東京証券取引所 スタンダード市場
単元株式数	100株

## ご注意

- 株主さまの住所変更、買取請求その他各種お手続きにつきましては、原則、口座を開設されている口座管理機関(証券会社等)で承ることとなっております。口座を開設されている証券会社等にお問合せください。株主名簿管理人(三菱UFJ信託銀行)ではお取り扱いできませんのでご注意ください。
- 特別口座に記録された株式に関する各種お手続きにつきましては、三菱UFJ信託銀行が口座管理機関となっておりますので、上記特別口座の口座管理機関(三菱UFJ信託銀行)にお問合せください。なお、三菱UFJ信託銀行全国各支店においてもお取次ぎいたします。
- 未受領の配当金につきましては、三菱UFJ信託銀行本支店でお支払いいたします。

## 『指月(シツキ)』社名の由来

『指月』の社名は、創業者山本重雄が長州(現在の山口県)の出身であること、また幕末長州藩の一家老として藩政改革で功を成した村田清風が先祖にあたることから、毛利家歴代の居城である萩城(指月城)から名をお借りしたのが命名の由来です。



## 株式会社 指月電機製作所

本社 〒662-0867 兵庫県西宮市大社町10番45号  
TEL:0798-74-5821 FAX:0798-73-0807  
<https://www.shizuki.co.jp>



## 株主通信

第95期 報告書

2022年4月1日～2023年3月31日

ABC  
PAN

メッセージ

改善と挑戦が、  
未来をつくる。

証券コード 6994 / スタンダード市場  
株式会社 指月電機製作所



代表執行役社長  
足達 信章

## 2019-2028年度 長期経営ビジョン

10年後の指月グループのあるべき姿

挑戦する社風へと変革し、品質第一のモノづくりと、  
未来を見据えた新技術・新商品の開発、  
グローバルな事業展開の推進により、  
社員の夢を実現し社会に貢献する企業グループになる

### 過去最高の売上高と、 価格高騰下でのチャレンジ。

2022年度は、新型コロナウイルス感染症の影響による行動制限が緩和へと向かい、経済活動の正常化が進む一方で、半導体を中心とした電子部品の需給逼迫や、ウクライナ情勢の悪化などに起因する素材・エネルギー価格の高騰が続き、依然として予断を許さない先行き不透明な状況

# 改善と挑戦が、未来をつくる。

## 中期経営計画

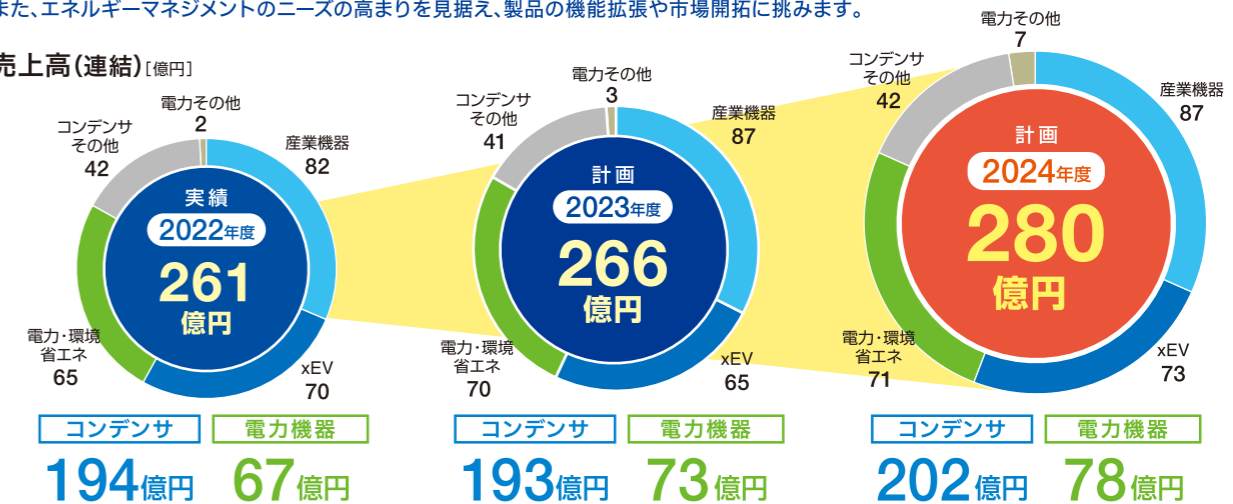
第Ⅰ期 2019～2021年度

第Ⅱ期 2022～2024年度

第Ⅲ期 2025～2028年度

第Ⅱ期には、パワーエレクトロニクスの普及に貢献するため、事業拡大を強力に推進します。  
また、エネルギー管理のニーズの高まりを見据え、製品の機能拡張や市場開拓に挑みます。

売上高(連結) [億円]



が続きました。特に電力料金は今もなお上昇が続き、私たちの調達先である素材メーカーもその影響を受けて素材価格をさらに押し上げるかたちとなっています。

このような厳しい経済環境のもと、コンデンサ・モジュールセグメントにおいては「事業部化」により各拠点を事業軸で結んで機能強化と生産性の向上に努め、電力機器システムセグメントにおいては「開製販一体」となって環境省エネ市場のニーズに根ざした提案活動を行ってきました。

まだ道半ばではありますが、こうした取り組みを重ねた結果、産業機器用コンデンサ、家電用コンデンサの受注回復や、瞬低補償装置の伸張が見られ、連結売上高は前年度比9.4%増となる26,127百万円となり、2021年度に続き過去最高を更新いたしました。

しかしながら損益につきましては、お客さまのご理解と協力を得ながら素材・エネルギー価格の高騰に対応した価格転嫁を進めるものの、販売価格への転嫁までのタイムラグにより前年度値・業績予想値に届かず、営業利益937百万円(前年度比6.0%減)となりました。今後も収益性の回復に努めるとともに、私たちシヅキが長年取り組んできた原価低減と効率化に一層力を注ぎ、次なるステージへ向けて力強く歩んでいく所存です。

## メッセージ

# 原点回帰と、積極投資。 あらゆる壁を越えて、全員で前へ進む。

## 価格転嫁だけでなく、改めて本質に立ち戻り、 効率化・合理化を追求する。

素材を熱や張力によって変形・変質させることで新たな付加価値を生み出していくシズキのものづくりは、素材や電力の価格に大きな影響を受けます。2022年度は、素材価

格の高騰により1,020百万円、電力料金の高騰により230百万円、あわせて1,250百万円もの影響が生じ、利益を押し下げたかたちとなりました。このような状況のもと、お客さまに対して真摯に説明を行いながら販売価格への転嫁を進め、価格転嫁による増益は880百万円となっています。

お客さまへの説明責任を果たそうとするなかで、「我々の

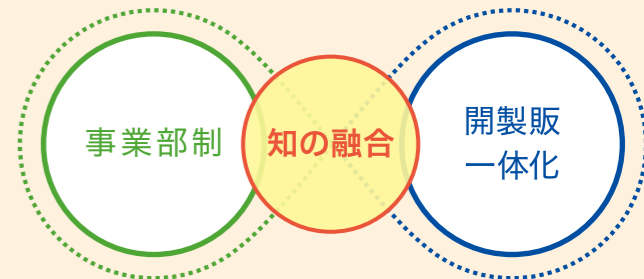
ものづくりは果たして今のかたちが最善なのか」「本当にこの部材はこれだけの量が必要なのか」「まだまだ改善できる余地が残っているのではないかと改めて気づかされる場面もありました。私たちはやはり、日々の地道な改善によって徹底的に効率化・合理化を追求するシズキ本来の姿勢を忘れてはなりません。今一度、原点に立ち戻り、生産性の飽くなき向上と、さらなる顧客満足の提供に努めていきたいと考えています。

## 「事業部制」と「開製販一体化」。 二本柱で、社内の風土を変えていく。

2022年度は「事業部制」のスタートと「開製販一体化」の推進を二本柱として、従来の垣根を越えた“知の融合”を目指してきました。徐々にではありますが、社内風土にもさまざまな場面で変化の兆候が見られ、拠点を越えた従業員たちの交流や協業が、日常の光景になりつつあります。

2022年7月に発足したxEV事業部が、事業部内のみならず産業向けコンデンサの事業部と綿密な連携をはかったりと、コンデンサ・モジュールセグメント全体でもお互いの知見や意見を交換し合う動きが活発になってきました。

また、新型コロナウイルス感染症による行動制限が緩和へと向かうなか、海外のマーケット動向を踏まえた調査や提案を行うために積極的に海外の展示会へ出向くメンバーも現れ、主体性を伴った行動から新しいものが生まれようとしている気運を感じます。自ら動くことは、勇気が要ります。こうしたメンバーが一人また一人とチャレンジを重ねていくことで、私たちの長期経営ビジョンである「挑戦する社風への変革」が成し遂げられていくものと考えます。



## より積極的な設備投資で、 個の能力を発揮できる環境を整える。

グループの一体化と“知の融合”は、組織全体の強化のみならず、拠点や職域という枠を取り払って、従業員一人ひとりがさらに能力を発揮していくための取り組みでもあります。点と点が個別に発展を目指すよりも、お互いの力をつなぎ合わせ、擦り合わせ、活かし合うことで、一人では成し遂げられなかった成果が生まれていく。そのような相乗効果を後押しできるように、新しい期では、国内工場を中心により積極的な投資を行っていきます。

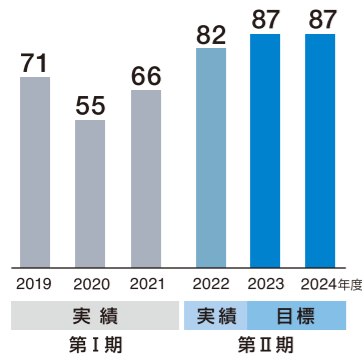
2022年度の設備投資実績1,038百万円に対して、2023年度はその約3倍となる3,400百万円を計画しており、個々の持つ能力がより発揮される環境を整えるとともに、次なるステージを見据えて、成長のドライブを加速させていく所存です。世界的な情勢を見ても、カーボンニュートラルの実現や、持続可能な社会の実現に向けて、「電気をより良くマネジメントする」というニーズはさらに高まっており、我々シズキが果たすべき役割も、より大きなものになっていくと考えております。

株主の皆さまにおかれましても、より一層のご支援とご鞭撻を賜りますよう、お願い申し上げます。

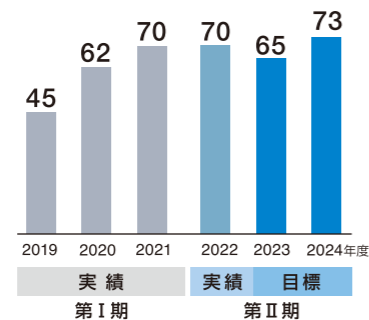
### <重点事業の売上高実績と目標(連結)>

#### コンデンサ・モジュール

##### 産業機器

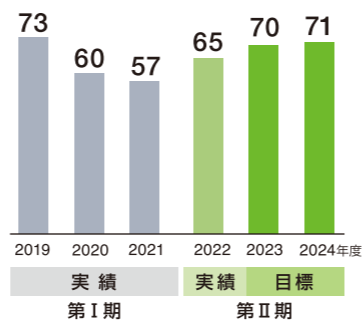
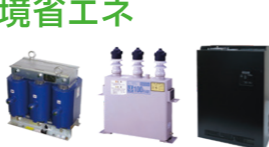


##### xEV



#### 電力機器システム

##### 電力・環境省エネ



## 設備投資の回復、 そして、海外への販路拡大を追い風に

### 瞬低補償装置／産業機器用コンデンサ

指月電機グループにとって過去最高となる連結売上高を達成した第95期。電力機器システムセグメントにおいて特に好調に推移したのが「瞬低補償装置」でした。雷害や雪害によって発生する電圧の低下（瞬時電圧低下）は、高速稼働中の生産ラインが急停止したり、設備や製造仕掛品が破損したりして、莫大な損失を招くリスクがあります。シツキの「瞬低補償装置」は、このような瞬低のリスクから生産ラインや設備を守り、多くの製造現場を支えています。当期は市場全体で設備投資の回復が見られ、特に半導体製造工場向けに多く採用いただくことができました。

シツキはこれからも、国内随一のラインナップとオプション対応力を武器にしてトップシェアの維持とビジネスチャンスの拡大を目指すとともに、一部製品にてUL規格・CEマークを取得したことで海外向けの販売も可能となり、さらなる需要拡大を見据えてチャレンジを重ねていく所存です。

### 第95期(2022年4月～2023年3月) 好調だったシツキの製品

#### 電力機器システムセグメント

##### ●瞬低補償装置

半導体製造工場向けの採用が特に好調。食品工場や薬品工場でも活躍！



#### コンデンサ・モジュールセグメント

##### ●太陽光発電向けコンデンサ

##### ●UPS(無停電電源装置)向けコンデンサ

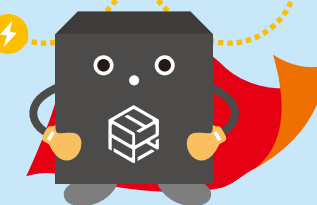
北米のデータセンターなどで需要拡大

## 教えて！ デンリョくん

### カーボンニュートラルな未来へ向けて、名前も一新!!

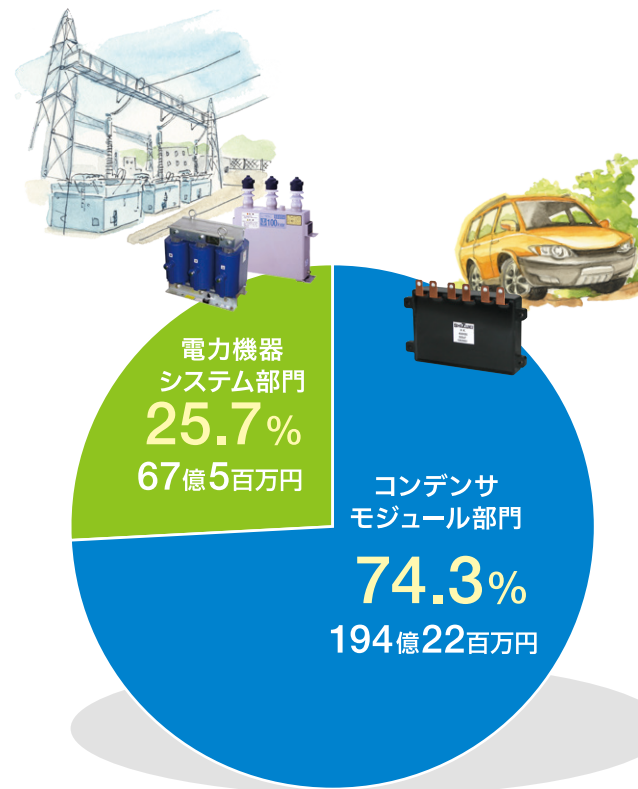
「カーボンニュートラル」って聞いたことある？「温室効果ガスをみんなでゼロにしよう!」という取り組みで、日本も2020年にカーボンニュートラルを目指す宣言を出してるんだよ。そんな中がんばっているボクたちの仲間が、再生電力再利用装置「PAR-CuBe(パルクューブ)」!例えば、立体駐車場で車を載せたパレットが下降する時に生まれる再生電力を充電して再利用したり、災害が起きて停電した時にも車を出庫できたり、これまで捨てていた電気を「蓄え」「使う」ことができるんだ。名前もデザインも活躍ぶりもかっこいい、未来のエースなんだよ!

電力回生用インバータ装置から名前を改称した「パルクューブ」です!よろしくね。



PAR-CUBE

### 2022年度通期の業績概要



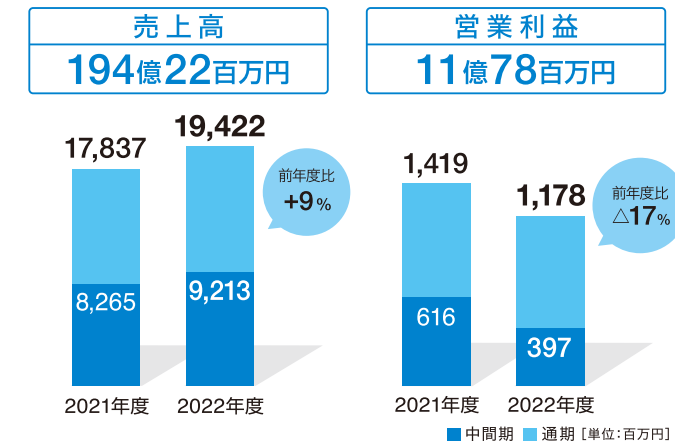
### 連結売上高

# 261億27百万円

※セグメント別の営業利益については、調整額△1,816百万円があります。  
(セグメントに帰属しない一般管理費等の全社費用)

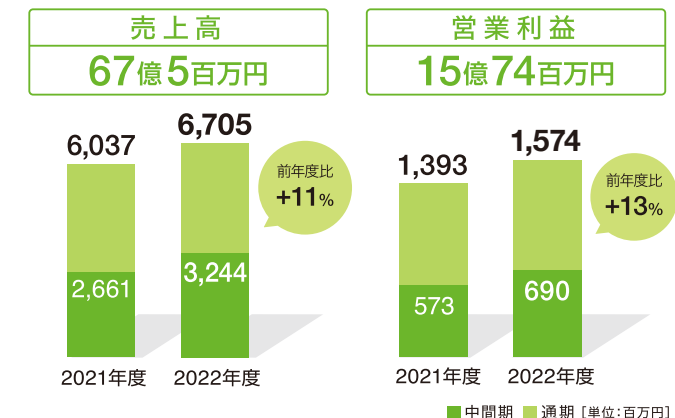
### コンデンサ・モジュール部門

xEV用はお客様の生産調整の影響を受け減収となったものの、産業機器用、家電用等のコンデンサが好調に推移した結果、売上高は19,422百万円(前年度比8.9%増)となりました。



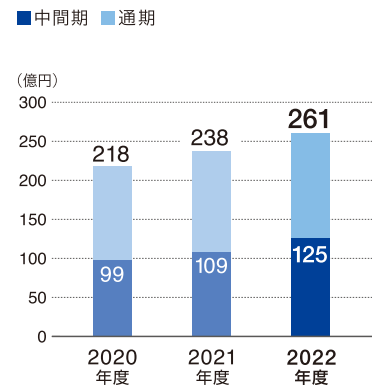
### 電力機器システム部門

瞬低補償装置を中心に、環境省エネ市場の売上が好調に推移いたしました。結果、売上高は6,705百万円(前年度比11.1%増)となりました。

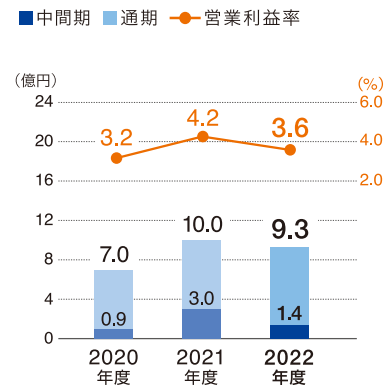


## 財務ハイライト

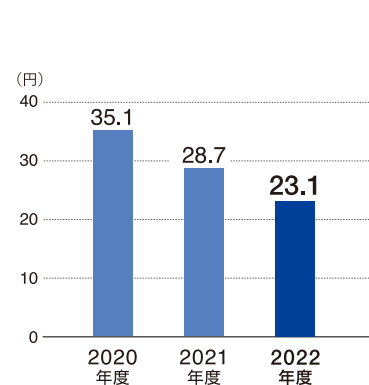
## 売上高



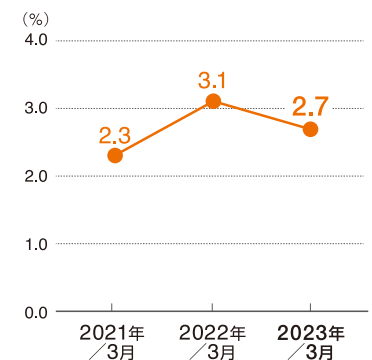
## 営業利益・営業利益率



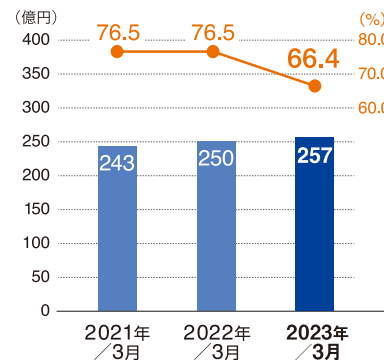
## 1株当たり利益 (EPS)



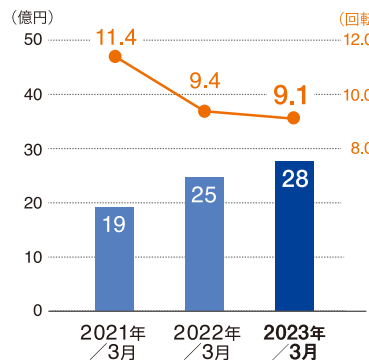
## 総資産営業利益率 (ROA)



## 純資産残高・自己資本比率



## 棚卸資産残高・棚卸資産回転率



売上高は、産業機器用コンデンサや電力機器が好調に推移、これに加えて、素材価格高騰に対応した価格転嫁活動の進展もあり、結果、2年連続で過去最高の261億27百万円と前年度比9%の増収となりました。また、営業利益は、売上規模の拡大や価格転嫁活動を進めたものの、素材/エネルギー価格高騰の影響を受け、9億37百万円と前年度比で減益となりました。

## 連結財務諸表

## 連結貸借対照表(要旨)

(単位:百万円)

科目	第94期 通期 2022年3月31日現在	第95期 通期 2023年3月31日現在
<b>資産の部</b>		
流動資産	15,881	21,822
現金及び預金	4,051	9,346
売上債権	9,019	9,344
棚卸資産	2,547	2,871
その他資産	263	260
有形固定資産	13,218	12,843
無形固定資産	509	425
投資その他の資産	2,535	3,026
資産合計	32,144	38,117
<b>負債の部</b>		
流動負債	3,817	3,889
固定負債	3,361	8,490
負債合計	7,179	12,380
<b>純資産の部</b>		
株主資本	22,136	22,583
資本金	5,001	5,001
資本剰余金	4,276	4,276
利益剰余金	12,880	13,327
自己株式	△ 21	△ 21
その他の包括利益累計額	2,445	2,737
非支配株主持分	382	415
純資産合計	24,964	25,737
負債純資産合計	32,144	38,117

## 連結損益計算書(要旨)

(単位:百万円)

科目	第94期 通期 2021年4月 1日から 2022年3月31日まで	第95期 通期 2022年4月 1日から 2023年3月31日まで
売上高	23,874	26,127
売上原価	18,654	20,809
売上総利益	5,220	5,318
販売費及び一般管理費	4,223	4,381
営業利益	996	937
営業外収益	640	624
営業外費用	273	337
経常利益	1,364	1,223
特別損失	-	56
税金等調整前当期純利益	1,364	1,166
法人税、住民税及び事業税	316	335
法人税等調整額	85	55
当期純利益	962	775
非支配株主に帰属する当期純利益	15	14
親会社株主に帰属する当期純利益	946	760

## 連結キャッシュ・フロー計算書(要旨)

(単位:百万円)

科目	第94期 通期 2021年4月 1日から 2022年3月31日まで	第95期 通期 2022年4月 1日から 2023年3月31日まで
営業活動によるキャッシュ・フロー	196	2,474
投資活動によるキャッシュ・フロー	△ 2,036	△ 1,417
財務活動によるキャッシュ・フロー	163	4,179
現金及び現金同等物に係る換算差額	45	58
現金及び現金同等物の増減額	△ 1,630	5,294
現金及び現金同等物の期首残高	5,682	4,051
現金及び現金同等物の期末残高	4,051	9,346

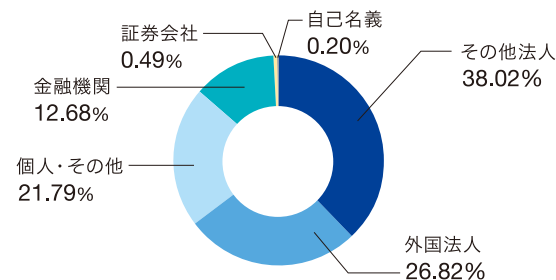
## 株式の状況

2023年 3月31日現在

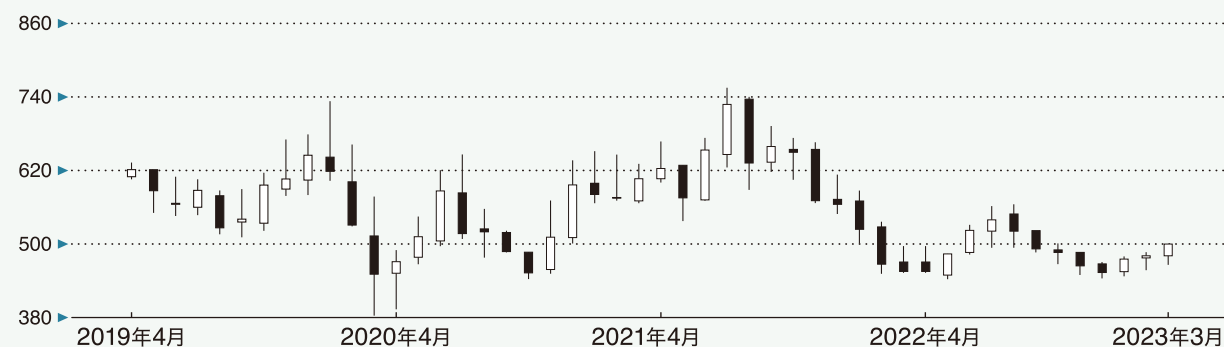
## 株式の状況

発行可能株式総数	128,503,000株
発行済株式総数	33,061,003株
株主数	3,861名

## 所有者別株式数分布状況



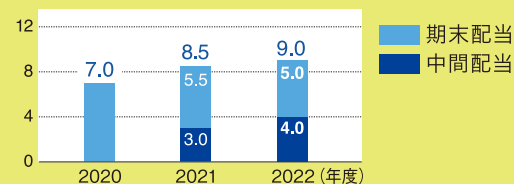
## 株価の推移(円)



期末配当金  
1株当たり  
5円

- 期末配当金 1株当たり5円
- 支払対象者 2023年3月31日の最終の株主名簿に記載または記録された株主または登録株式質権者
- 支払開始日 2023年6月12日

## 1株当たりの配当実績(単位:円)



## 大株主(上位10名)

株主名	持株数(千株)	持株比率(%)
三菱電機株式会社	6,980	21.2
株式会社村田製作所	4,471	13.5
NOMURA CUSTODY NOMINEES LIMITED OMNIBUS-FULLY PAID (CASHPB)	4,154	12.6
NOMURA CUSTODY NOMINEES LTD - TK1 LIMITED	2,037	6.2
NCSN-SHOKORO LIMITED	1,522	4.6
株式会社りそな銀行	1,299	3.9
指月協友持株会	988	3.0
株式会社みなと銀行	925	2.8
日本マスタートラスト信託銀行株式会社(信託口)	665	2.0
MSIP CLIENT SECURITIES	506	1.5

(注)持株比率は、自己株式(64,606株)を控除して計算しております。

## 会社概要

2023年 3月31日現在

## 会社概要

商号	株式会社指月電機製作所
英文名称	SHIZUKI ELECTRIC COMPANY INC.
本社所在地	〒662-0867 兵庫県西宮市大社町10番45号 TEL:0798-74-5821
ホームページ	<a href="https://www.shizuki.co.jp/">https://www.shizuki.co.jp/</a>
創業年月日	1939年 3月10日
設立年月日	1947年 9月 1日
資本金	5,001,745,595円
グループ人員数	1,451名
主要取扱業務	<ul style="list-style-type: none"> <li>■ コンデンサ及び関連機器・装置の製造販売</li> <li>■ 電力機器・装置の製造販売</li> </ul>
営業拠点	<ul style="list-style-type: none"> <li>● 東京支社</li> <li>● 東京支店／関西支店／中部支店</li> <li>● 仙台営業所／日立営業所 広島営業所／福岡営業所</li> </ul>

## 生産子会社

社名	資本金	出資比率(%)
九州指月株式会社(福岡県)	300,000千円	100.0
秋田指月株式会社(秋田県)	300,000千円	100.0
岡山指月株式会社(岡山県)	300,000千円	100.0

## 関連会社

社名	資本金	出資比率(%)
株式会社 村田指月 FCソリューションズ	100,000千円	35.0

## 役員

取締役 取締役会会長	足達 信章*
取締役	大槻 正教*
取締役	小山 義雄
取締役	谷 和義*
取締役	松尾 誠人*
取締役	奥西 啓祐*

\*は執行役を兼任 ※は社外取締役

## 執行役

代表執行役社長	足達 信章
専務執行役	大槻 正教
執行役	小田 敦
執行役	牧添 浩明
執行役	稲垣 裕一

## 生産・販売子会社

社名	資本金	出資比率(%)
アメリカンシヅキ株式会社 (米国 ネブラスカ州)	17,600千米ドル	100.0
タイ指月電機株式会社(タイ バンコク)	33,000千パーツ	70.0
指月獅子起(上海)貿易有限公司	250千米ドル	100.0